

紫香楽宮跡で並立する大型建物跡を発見

信楽町宮町の遺跡調査地で、このほど紫香楽宮期の建物跡1棟が確認されました。

建物は桁行(間口)24.9m×梁行(奥行)14.8mの規模を持つ極めて大きな東西棟の掘立柱建物です。

この建物の注目すべき点は、建物自体の規模と確認した位置です。

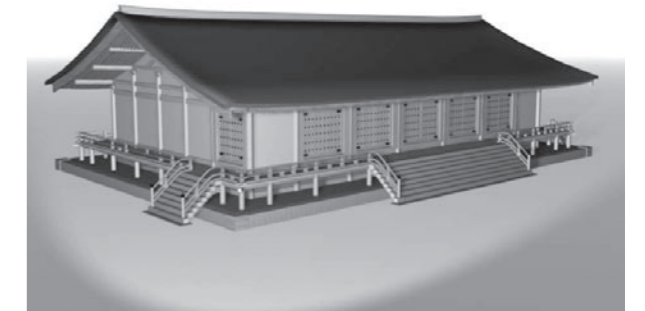
建物の規模から紫香楽宮の主要殿舎の1つと推定でき、他の都城遺跡の事例を考えると政治の中心区画である紫香楽宮「朝堂」の北方に内裏的な役割を果たす「朝堂北方区画」の存在が推測できるようになりました。

また、今回の建物と同様の構造と規模をもつ建物が「朝堂」中軸線を挟んで西側にも存在したことがこれまでの調査で確認できています。

紫香楽宮のように朝堂北方に2つの大規模建物が並立する配置は、他の都城遺跡でも事例が少なく、恭仁宮跡(京都府木津川市所在)でみられるだけです。

恭仁宮との比較では、区画の有無や建物の構造は異なるようですが、恭仁宮の離宮として造営された紫香楽宮においても同様の建物配置が確認できました。

今後更に調査を進め、区画の全容を解明していく予定です。



▲建物のイメージ図(CG)

内裏区画の可能性も

歴史文化財課 問い合わせ ☎86-8026 ☎86-8216

市史の小徑

52

「中世甲賀」の世界へようこそ

『甲賀市史』第2巻

いよいよ刊行

一昨年刊行し全国的にも注目を集めた第7巻「甲賀の城」に続き、4冊目となる第2巻「甲賀衆の中世」が、来る2月29日(日)いよいよ刊行の運びとなりました。

今回は平安時代の末から戦国時代の末期まで、およそ500年にわたる「中世」を、甲賀の地で活躍した侍たち「甲賀衆」の動向を軸に解き明かします。

中世は私たちの地域社会の基礎が作られた時期であり、戦国時代を含むことからたいへん話題の多い一冊となっております。ぜひお手元におさなえ下さい。

B5判 本文510ページ・上製本・箱入り・写真多数・ブックレット「中世甲賀を歩く」同梱・販売価格3,500円

【刊行記念行事】

刊行を記念して歴史講演会を開催します。お誘い合わせのうえご参加ください。会場では先行販売も行います。

〔日時〕 2月26日(日)

13時30分から16時まで

〔会場〕 甲南情報交流センター

忍の里プラザ

〔講師と演題〕

- ・河内将芳氏(奈良大学教授)「六角征伐と甲賀の武士」
 - ・尾下成敏氏(京都大学非常勤講師)「信長の天下統一戦争と甲賀衆」
- 入場無料・申込不要

【販売場所】

- 〈水口町〉ブックショップヤマカワ・山田書店・TSUTAYAさんぽうこー・水口歴史民俗資料館
 - 〈土山町〉ウエノ・道の駅あいの土山・新名神土山サービスエリア案内所土山歴史民俗資料館
 - 〈甲賀町〉かふか生涯学習館
 - 〈甲南町〉ウイング甲南店・市史編さん室
 - 〈信楽町〉大宝堂谷川書店・信楽伝統産業会館・信楽中央公民館
- ※予約申込の方は指定の施設でお引き換えください。

問い合わせ

歴史文化財課 市史編さん室 ☎86-80075 ☎86-8216

*詳しくは「甲賀市ホームページ」→トップの「甲賀市史」のバナーからもご覧いただけます

私たちのくらしとレッドリストの生き物たち [第5回]

レッドデータブックに掲載される絶滅のおそれがある野生生物の一覧をレッドリストと言います。私たちの身近な環境と甲賀市のレッドリストに載る生き物の関係について紹介します。

山地の森林とレッドリストの生き物

甲賀市は、鈴鹿や信楽の山並みがあり、森林の多い地域です。最近、この森林に接した地域で獣害の問題をよく聞きます。

鈴鹿山脈など太平洋側の山地は、国内で最もシカの食害が多い地域です。農作物や植林地の稚樹の被害だけでなく、森の中に入ると、その被害に驚きます。シカが食べる、森の下草や低木は、シキミ、トリカブト、マツカゼソウなど有毒植物しか残りません。10年前に咲いていたカタクリなど草花は多くの場所で姿を消し、幼虫が下草のカンアオイ類を食べるギフチョウも絶滅寸前です。

シカの増加は、温暖化による積雪減少や、人によるオオカミの駆除や森林利用の変化などが主な原因とされます。

人を含む多様な生き物と、それを取り巻く環境のバランスを保つことが、持続的に自然の恵みを受けるために必要です。



▲ギフチョウ(絶滅危惧種)



◀カタクリ(絶滅危惧種)

問い合わせ

みなくち子どもの森自然館 ☎63-6712 ☎63-0466

災害時における応援協定を締結

1月17日

●災害時における物資供給に関する協定

「甲賀農業協同組合」と締結

●災害時における被害状況調査の支援活動に関する協定

「甲賀測量設計協会」と締結

市では、大規模災害発生時における、被災地に欠かせない食料品、日用品、衣料品、災害現場対策品などの調達に万全を期すとともに、市が指定した引渡し場所までの配送を的確に行うための協定を甲賀農業協同組合と、また、大規模災害が発生し、市が災害対策本部を設置し災害対策基本法による「激甚災害」の指定が想定される場合における市管理の道路、河川等の公共土木施設などの被害状況調査についての協定を、甲賀測量設計協会(8社)とそれぞれ締結しました。

これにより、大規模災害時における被災者への物資供給や市の公共土木施設の被害状況調査を円滑に行うための体制が充実いたしました。



▲甲賀農業協同組合但馬基一代表理事組合長(左)、甲賀測量設計協会村山善男会長(右)